



第4回 全国高校生

# プレゼン甲子園<sup>®</sup>



おも  
私の念いを伝えられるのは、私だけ。

プレゼンテーション力が必須のこの時代

誰が一番自分の念いを伝えることができるのか

集え！ 全国の高校生諸君



優勝トロフィー  
「∞の砂時計」

応募資格 高校生1チーム3人まで（個人でも可）

テーマ Well-beingな社会をつくるために今私たちができること

日程 5/24(金)～6/5(水) 申し込み・予選動画提出(17:00まで)  
7/6(土)～7/7(日) オンラインによる地域ブロック選抜  
【7/19(金) 予選通過チーム発表(10チーム)】

**8/24(土) 決勝大会(ハピリンホール：福井県)**

表彰 最優秀賞兼文部科学大臣賞 1チーム  
優秀賞 3チーム  
特別賞 1チーム  
奨励賞 5チーム  
スポンサー賞  
ブロック賞  
各ブロック上位3チーム  
学校奨励賞

主催 全国高校生プレゼン甲子園実行委員会

共催 福井県教育委員会 一般社団法人プレゼンテーション協会

特別協賛 JTB 伊藤忠商事 学研ホールディングス

協賛 福井銀行 NOLTYプランナーズ フジクラ

フクビ化学工業 日本ピーエス 勝木書店 熊谷組 アイビックス 福井村田製作所 三谷商事

後援(特別協力) 日本マイクロソフト 清川メッキ工業

後援 文部科学省 全国高等学校長協会 (公社)2025年日本国際博覧会協会 福井新聞社 FBC  
情報経営イノベーション専門職大学

※協賛・後援企業は令和6年1月10日現在。公式HPにて随時更新



全国高校生プレゼン甲子園は、テーマについて深く考察し、自分の考えや念<sup>おも</sup>いを「伝える」ことで、論理的思考力、表現力、創造力等を養うとともに、互いの発表を通して、総合的なプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とする大会です。

### 応募規定

高校生1チーム3人までで応募してください（個人でも可とします）

- 令和6年度に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）、特別支援学校高等部、高等専門学校（3年生まで）に在籍している方
- 各種メディアや大会公式HP等への氏名、学校名、顔写真、プレゼン動画などの掲載について同意できる方（プレゼン動画についてはブロック大会、決勝大会出場者のみ。）
- 決勝大会に参加可能な方
- 1校から何チームでも応募可。ただし、同一学校でチームを組み、応募は1人1回とします。

### テーマ

予選・決勝共通テーマ

#### Well-beingな社会をつくるために今私たちができること

OECD（経済協力開発機構）の「Learning Compass2030（学びの羅針盤 2030）」では、個人と社会のWell-beingは「私たちが望む未来（Future We Want）」であり、社会のWell-beingが共通の「目的地」とされています。誰もがWell-beingを実感できる社会を実現するために、今私たちができることは？高校生のみなさんが考える具体的なアクションについて提言してください。

### 応募方法

#### ①プレゼン資料作成

テーマを研究し、プレゼンの構成を考える

※プレゼンに使うツールは自由です。PowerPointなどのプレゼンアプリにこだわらず、スケッチブックに手描きしたものを使うなど、自分の考えを一番伝えることができる方法を工夫してください。

ただし、プレゼン動画撮影後の動画編集は不可とします。（例：文字テロップの挿入、効果音の追加など）

#### ②動画を撮影

プレゼンテーションを動画で撮影する

※予選のプレゼン時間は3分以内

※スマートフォンで撮影もOK

※発表者が画面に見えていること（一時的に見えないのは可）

※プレゼン動画は、通して撮影し、編集はしないこと

#### ③応募フォームからアップロード

応募フォームに必要事項を記入し、データをアップする

※データ形式、アップロードの方法については④「動画撮影・投稿の方法」を参考にしてください

※データが大きい場合は「ギガファイル便」などを利用しURLを記入

公式サイトに

①「プレゼンテーションの基礎」

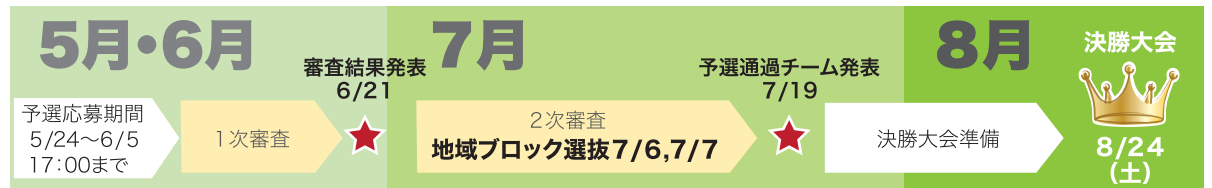
②プレゼン資料の作り方

③「プレゼンの話し方」

④「動画撮影・投稿の方法」

の動画がありますので、参考にしてください（各10分程度）

### スケジュール



地域ブロック：北海道・東北(1)、関東(1)、北信越・東海(1)、近畿(1)、中国・四国(1)、九州・沖縄(1)、開催県(1)、審査委員推薦(3)

### 審査

予選：1次審査 応募動画を審査し、各ブロック上位3チームを選出

2次審査 プレゼン動画についてオンラインによる質疑応答を行い、決勝進出10チームを選出

決勝：対面審査 テーマに沿ってプレゼンし、その後、質疑応答を行う（プレゼン時間5分）

### 審査基準

- ①テーマに対する考察、根拠、論理性、独創性
- ②メッセージの伝わりやすさ、構成
- ③印象的、効果的なスライド等のビジュアル
- ④話し方、訴求力、説得力
- ⑤質疑応答における対応力

### お問い合わせ

専用サイトからお問い合わせください



全国高校生プレゼン甲子園  
実行委員会事務局  
〒910-8580  
福井県福井市大手3丁目17番1号  
（福井県教育庁 高校教育課内）

### 審査委員長

前田 鎌利 （一社）プレゼンテーション協会代表理事